

# かいよう 「海洋プラスチックごみ」とは？



近年、**プラスチックごみ**をはじめとした海洋ごみが、日本を含めた世界中で問題となっています

世界全体で日々大量に発生する「海洋プラスチックごみ」は長期にわたり海に残存し、このままでは2050年までに魚の重量を上回ることが予測されるなど、地球規模での環境汚染が懸念されています

# かいよう 海洋プラスチックごみは りく 陸からやってくる

海洋ごみには、陸で生じたプラスチックごみ等の生活系ごみが多く含まれます  
海洋ごみの7割以上は、陸からのごみとも言われています

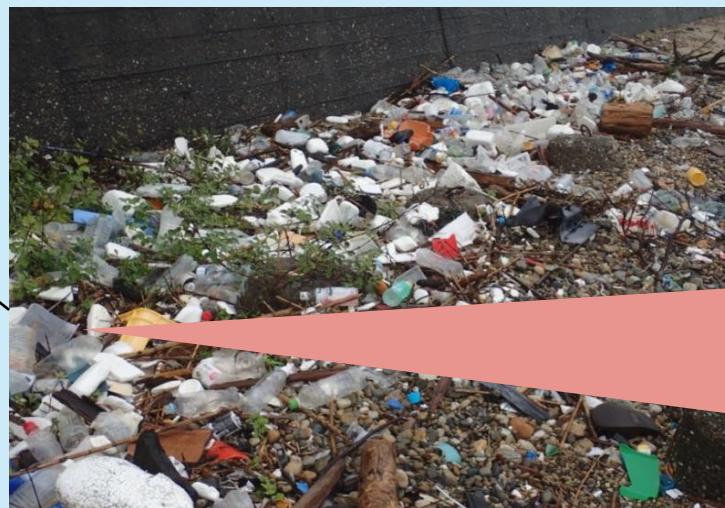


街中の様子

川岸の様子



食品プラスチックケースの破片等



海岸に流れ着いたごみ



植木鉢



チューブ容器

# かいよう 海洋プラスチックごみに こま<sup>い</sup>まっている生き<sup>もの</sup>物たち

海洋プラスチックごみは**分解されない**ため、海洋ごみの誤食や海洋ごみによる負傷によって海の生き物が影響を受けています  
死んだ海鳥や魚の胃の中からも、**餌と間違っ**て食べたプラスチックがたくさん見つかっています

プラスチックが身体に巻きついてしまい、動けなくなってしまう動物もたくさんいます



© UN World Oceans Day



# 5ミリ よりちい小さい マイクロプラスチックとは

海に流れ出たプラスチックは、**紫外線**や**海の流れ**の中で粉々に砕けます  
5mm以下にまで小さくなったかけらは「マイクロプラスチック」と呼ばれています

プラスチックは小さくなくてもその性質は変わらず自然界では分解されないこと、  
また、プラスチックは有害化学物質を吸着しやすい性質があることから、マイクロ  
プラスチックの誤食に伴う海洋生物への影響が懸念されています

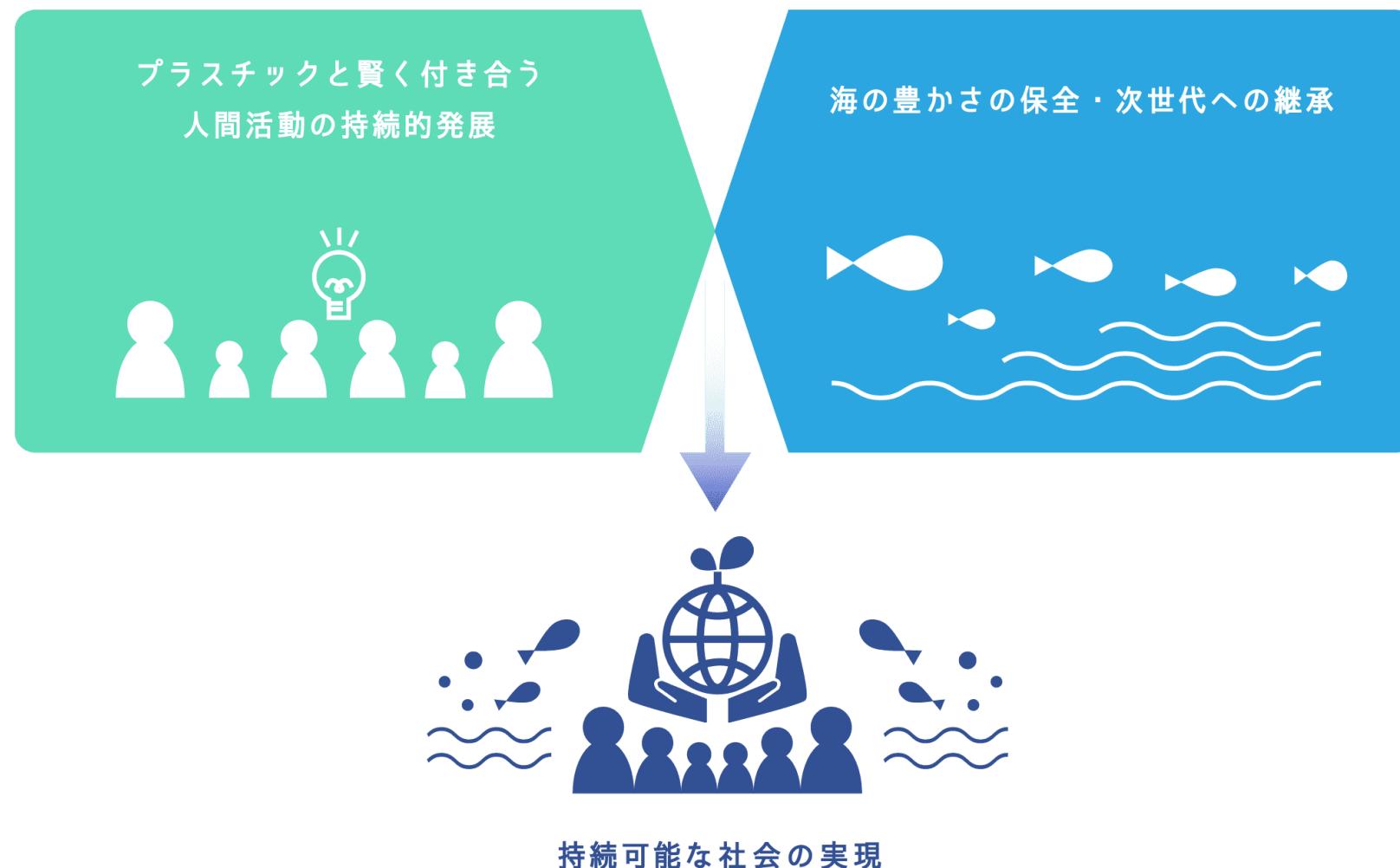
プラスチックは小さくなると回収ができなくなるため、川や海へ流出しないように  
プラスチックごみを回収すること、流出してしまったごみをマイクロプラスチック  
になる前に回収することが重要です



# できることからはじめよう！ プラスチック・スマート

海洋プラスチックごみ問題の解決に向けて、個人・企業・団体・行政などのあらゆる主体が、それぞれの立場でできる取組を行い、**プラスチックと賢く付き合っていくことが重要です**

環境省では、そうした取組を応援し、さらに広げていくため「プラスチック・スマート」キャンペーンを実施しています



# こんなことができる

## <sup>みぢか</sup>身近なことからコツコツと

### ● 使い捨てのプラスチックを使わない

1回使っただけで捨ててしまう ワンウェイ（使い捨て）のプラスチック製品を使わないようにすることで、プラスチックごみの排出量が減ります

例：お店でレジ袋を断る

### ● 海や川でのごみ拾い

全国の海岸、河川で、捨てられたごみの回収・清掃活動が行われています  
身近なところからキレイにしよう

### ● ごみを正しく分別して捨てる

ごみは種類により、正しい捨て方が自治体のルールで決められています  
ポイ捨てはゼットタイにダメ！

